



5年生が、観音山でたくましく成長してきました！

寒さが厳しかった1月27日(月)から29日(水)にかけて、5年生は観音山少年自然の家にて二泊三日の宿泊学習に行ってきました。今年も浅羽中学校で共に生活することになる浅羽北小学校の5年生と一緒に過ごし、充実した体験をすることができました。

「観音山、いやだなあ」「不安だなあ」多くはありませんが、出掛ける前には子供たちのそんな後ろ向きな声も漏れ聞こえてきました。家族以外の人と寝泊まりすることが初めてという子もいれば、不自由な山の中で大自然に触れるという経験をしたことがない子も大勢いるわけですから、不安を感じることは当然なこととも言えます。

1日目の夜、「もう帰りたい」と口にしていた子が数人いました。2日目朝の健康観察でも、気分の不調を訴える子がいました。しかし、山頂登山、グループでのオリエンテーリング、クラフト作り、北小と合同でのレクリエーションなど、様々なプログラムを経験していく中で、仲間との絆が深まり、笑顔が増えていきました。5、6人のグループごと、地図を頼りに観音山のエリア内でキーワードが記されたポストを探すオリエンテーリングでは、班の仲間と声をかけ合いながら山歩きをしました。チェックポイントで子供たちを待っていると、「〇〇ちゃん、大丈夫？」「そこ危ないから気を付けて。」「こっちを通る方が楽だよ。」そんな子供たちの優しい言葉がたくさん聞こえてきました。自分たちしかいない山中で、仲間を大切にしている子供たちの姿に感動しました。



最終日の朝の健康観察では、全員が「心身ともに元気」と答えていました。最後の活動となった沢登りでは、全員が冷たい真冬の沢に入り、声をかけ合いながら楽しく沢の上流を目指しました。「ガメラの背中」と呼ばれる見上げるような大岩にも果敢に挑み、ロープを握りしめ、足の裏全体で一歩一歩岩をつかみながら自分の力で登り切ることができました。不安と恐怖心が大きかった子ほど、登り切った時には表情が緩み、大きな達成感を味わっているようでした。

子供たちがたくましく成長する姿を目にすることができました。最上級生になる自覚を高めた5年生のこれからの活躍が楽しみです。



令和7年度のPTA奉仕作業について

1月に開かれたPTA運営委員会で、年に2回地区割で実施しているPTA奉仕作業が話題になり、「年1回の参加であっても負担である。」「参加していない家庭があるのは、不公平である。」「PTA会費を値上げして外部委託にしてもよいのではないか。」などの意見が出されました。

今年度も、5月と9月に地区割で奉仕作業を実施しました。御参加をありがとうございました。当日、都合がつかなかった御家庭は、翌週実施された祖父母奉仕作業や担当地区ではない回の奉仕作業に参加してくださいました。また、学校に連絡をした上で別日に個人で作業をしてくださった方もいらっしゃいました。会員の皆様の御協力に感謝申し上げます。

ところで、業者等に委託する場合には、PTA会費の1000~1500円の増額が見込まれます。

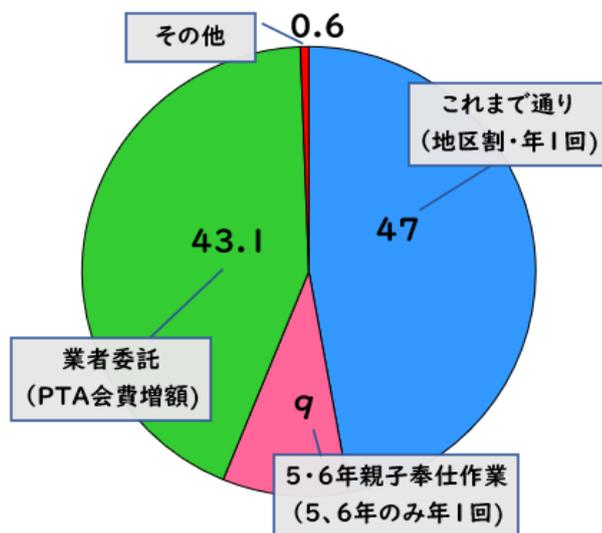
先日、保護者の皆様にお願ひしたアンケート結果は、右のグラフの通りです。大きな差ではありませんが、「これまで通り」を望む意見が多かったので、令和7年度も地区割で、年1回、御参加いただくかたちで奉仕作業を実施します。御協力をお願いいたします。

また、PTA活動や組織についていくつかの御意見をいただきました。いただいた意見やアイデアを役員の方々と共有し、今後のPTA活動に生かしていきたいと考えています。

今回のアンケートで、ある保護者が「登校時の見守りをしてくださる方たちには、感謝しかありません。毎日同じ方と顔を合わせ、あいさつしたり、笑顔を向けたり、時に注意を受けたりしながら学校までの道のりを安心して歩いています。これからもよろしくをお願いいたします。」と書いてくださっていました。

本校には、子供たちのためにボランティアで活動してくださっている方々がたくさんいらっしゃいます。登下校の見守りをしてくださっているガードボランティアの皆様、読み聞かせボランティアと「ぐりとぐらの会」の皆様、紙芝居ボランティアの皆様、放課後こども教室のボランティアスタッフの皆様、家庭科の授業支援ボランティアの皆様、夏休み学習室ボランティアの皆様、6年生対象の算数教室ボランティアの皆様、その他、総合的な学習の時間や生活科の授業でも多くの地域の方々に助けていただきました。

始業式で、子供たちに「3学期は感謝を伝える学期です。」と話しました。私たち大人も、しっかりと感謝を伝えていきたいものです。お時間がある時に集合場所や通学路まで行って、保護者の皆様からもガードボランティアさんたちに今年度の見守りに対する感謝を伝えていただけたら幸いです。



令和7年度、職員がチームとなって子供たちを支援する「チーム担任制」を導入しようと考えています。これまでと同じように、学級担任を決めますが、学年団で担任以外の先生が入る授業を意図的に増やしていきます。また、学期の途中で1日、あるいは1週間、担任を交代するという取組をする可能性もあります。

どの程度、担任が他のクラスの授業に入ることができるのかは、職員の人数や配置によるところが大きいため、詳細が決定するのは4月以降になります。新1、3年生は、1クラスの予定です。

チーム担任制により、子供たちは今より多くの先生たちと仲よくなることができます。私たち職員は子供をより深く理解することができるようになって考えています。